

## 2004 年度（平成 16 年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	刑 法
------	-----

### 問題 1

X は、窃盗の目的で、A 電機会社の倉庫の前にトラックを止め、倉庫内に立ち入って物色中、ガードマン B に発見され逮捕されそうになったので、倉庫内で B と格闘したうえ B を縛り上げた。その際、X は右手を負傷したため、友人 Y を携帯電話で呼び寄せ、それまでの事情を打ち明け、X と Y が協力して倉庫内から製品を運び出しトラックに積み込んだ。その直後、倉庫内の製品が崩れ落ち、B はその下敷きとなって即死した。

X および Y の罪責を論じなさい。

### 問題 2

甲は、X より 500 万円を借り、当該債務を担保するため、自己所有の土地を、X に対し、内部関係において所有権を甲に留保する信託的所有権譲渡をして、甲が弁済期に弁済をしなかった場合、該土地の所有権は内部関係においても完全に X に移転すべき契約を締結した。甲は弁済期に債務の弁済をしなかったにもかかわらず、該土地について、いまだ、所有権移転登記がなされず、自己名義のままになっていることを奇貨として、該土地を A に売却し、所有権移転登記を完了した。

(1) 甲の罪責を論じなさい。

(2) 譲渡担保権者が、弁済期到来後に目的物を第三者に処分する方法により譲渡担保権を実行し、清算義務があるにもかかわらず、第三者から受け取った金銭を全て費消してしまった場合、譲渡担保権者の罪責を論じなさい。

問題 1 と問題 2 は、別の答案用紙に解答すること。